

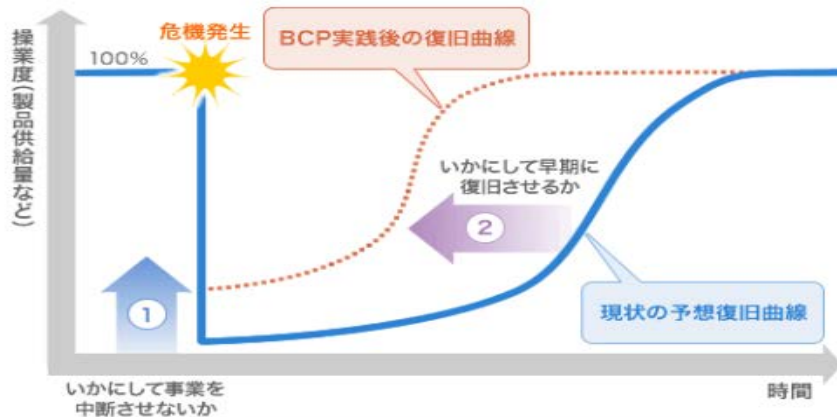
(株)日本政策投資銀行 BCM格付融資について

* BCM: Business Continuity Management

BCM格付融資の概要

- 「DBJ BCM格付」融資は、DBJが開発した独自の評価システムにより防災及び事業継続対策への取り組みの優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資制度です。
- あらゆる危機的事象(*)に対しても、従業員の命を守り、事業を継続するための経営戦略と対応力を評価します(事業資産への損害最小化、有事のキャッシュフロー継続)。(*)企業経営を脅かす経済、金融リスクはもとより、東日本大震災やタイ洪水などの自然災害リスク、サイバー攻撃、パンデミック、気候変動、地政学リスクなどオールハザードの意

BCM格付融資のプロセス、BCMの考え方



1 防災対策

2 事業継続

ソフト面:事業継続の方針/目標/計画/推進体制
ハード面:事業継続の基盤

BCM格付の評価項目(2015年度版)

分野	評価項目	得点 (100点満点)	
防災対策	A 応急対応を中心とした防災計画の策定	25点	
	B 生命安全保障策の整備		
	C 周辺地域への二次災害防止策の整備		
	D コンプライアンス		
事業継続	E 施設安全策及び設備の状況把握	25点	
	F 物的経営資源(拠点・設備・その他)の代替性確保		
	G 情報セキュリティ対策		
	ソフト面	H 基本方針の策定、事業継続体制の構築、事業継続リスクアセスメント	50点
		I 重要業務の洗い出しとBIA	
		J 目標復旧時間と目標復旧レベル	
		K 「事業継続の制約となる要素・資源」(ボトルネック)の把握、時系列分析	
		L 事業継続の戦略検討	
		M 有事の財務戦略	
		N 事業継続の訓練・演習と見直し	
		O サプライチェーン/バリューチェーンのリスクマネジメント	
		P 地域防災との連携、事業継続のための業界連携	
		Q 能動的なリスク/クライシス・コミュニケーション	
		R 事業継続上の優れた取り組み	

ロゴマーク



BCM格付融資の特長

1. 防災、事業継続の取組を費用ではなく投資と捉え、企業価値化を目指す世界初のユニークな金融商品。評価結果(A、B、C)に応じて融資条件のインセンティブを設定。
2. 取組の維持・向上を目的としたBCM覚書を締結することで金融機関の立場からBCMモニタリングを実施。
3. 国内では、内閣府防災、国交省、経産省らと協調し、防災・危機管理に関するガイドライン策定や政策立案への貢献。
4. 投融資の国際的な動向としてサステナビリティ・アセスメントやESG投資(環境、社会、ガバナンス)が注目される中、災害大国日本ならではの金融技術として、世界経済フォーラム(2012)、国連防災世界会議(2013)、アジア大洋州金融協会(2014)で災害レジリエンス向上の好事例と評価を受ける。
5. フィリピン国政府に対し本制度の導入調査(2015)、APEC首脳級会合「GVC(グローバル・ヴァリュー・チェーン)の災害レジリエンス向上」(2016)など、政策対話、外交ツールとしての活用開始。

金融機関自身のBCPも重要ですが、それと同様に重要なことは、平時からの金融取引やビジネスの中に、防災やレジリエンスへの投資価値を組み込むことと考えています。

【本件お問い合わせ先】 DBJ環境・CSR部 BCM格付主幹 蛭間芳樹